

校園長室から



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和6年5月10日 第4号

留守番

1年生は、りんくう公園。2年生は、浜寺公園。3年生は、和歌山城。4年生は、大阪城。5年生は、サイクルC。そして、6年生は、京都へ。

みんなハイテンションで明るい表情。「走ったらアカンで。お弁当くずれる」なんて声も飛んでいました。

思い出に残る一日になってほしいと思います。

留守番をしながら昔の遠足の思い出をたどると、ある小学校でのこと。大阪市内の科学館へ。入り口で担任の先生などが話し込んでいました。

なんやら深刻な表情。その様子を遠くから眺めていました。

子どもたちは、賢く座って入場の時を待っています。

そこへ一人の先生がやってきて言うのです。

「この会場は、予約ができなくて当日受付で支払いも同時にすることになっています」と。

早いところ受付へ行けばいいのと返そうとしたら、「入場料持ってくるのを忘れました」と。70人ほどの子どもと4人の先生の入場料、約3万円ほど。「持っていませんか」と詰められました。「ほかの先生も小銭だけしかなくて」とさらに追い詰めてきます。

恐る恐る自分の財布を見ると、持っていたのです。3万円。

かっこよくホイと3万円を手渡し自慢顔。入場しプラネタリウムに入って一息。そこへ、持病の閉所恐怖症が襲ってきて、慌てて退場。少し落ち着こうと、お茶を買いに自販機の前で財布を広げると、お茶を買うには、10円足りず、じっと我慢をしたのでした。